

愛知県医療療育総合センターの開所について

愛知県医療療育総合センターについては、心身障害者コロニーを再編し、高度で専門的、かつ、広域的な支援に特化し、地域で生活する障害のある方々が必要な時に専門的な医療・療育を受けられる拠点施設とするための整備を進めてまいりました。

平成28年のこぼと棟・リハビリセンター棟の竣工に続き、平成30年12月に本館棟が竣工し、平成31年3月に「医療療育総合センター」として開所いたしました。

1 再編整備の経緯

平成19年 3月	愛知県心身障害者コロニー再編計画策定
平成26年 5月	こぼと棟・リハビリセンター棟工事（第Ⅰ期工事）着手
平成28年 3月	こぼと棟・リハビリセンター棟竣工
平成28年 5月	本館棟工事（第Ⅱ期工事）着手
平成30年12月	本館棟竣工
平成31年3月1日（金）	愛知県医療療育総合センターへ名称変更 小児心療科病棟の供用開始（33床）
平成31年3月16日（土）	医療療育総合センター開所式典及び内覧会
平成31年3月19日（火）	中央病院入院患者 本館棟へ移転（114床）
平成31年3月25日（月）	中央病院（本館棟）での外来診療開始
平成31年4月～	第Ⅲ期工事（駐車場整備等）

2 総事業費 162.5億円

3 主な機能と特色

- ・地域の障害者施設や医療機関では対応困難な障害のある方々に高度で専門的な医療・療育を提供するとともに、在宅療養している障害者のレスパイト入院の受入体制を強化し、ご家族の負担軽減を図ります。
- ・長期の入院療養を要した障害のある方々が安心して在宅に移行できるよう、中央病院に「在宅医療支援部」を新たに設け、安心して地域の医療機関にかかることのできる環境づくりを進めていきます。
- ・県内各地域の重症心身障害児者入所施設や医療機関等とのネットワークを構築し、連携を図るとともに、NICU（新生児集中治療室）の後方支援病院としての役割を担っていきます。

4 施設概要



<フロア図>

○本館棟 鉄筋コンクリート造（耐震構造）地上6階地下1階

延床面積 計 26,138 m ²	本館棟 (17,893 m ²)
6F	機械室
5F	発達障害研究所
4F	手術室(3室) 内科病棟(37床) HCU(8床) 外科病棟(44床)
3F	児童精神科・小児心療科病棟(58床)
2F	運用部 療育支援センター (福祉型障害児入所施設 37人)
1F	外来、薬局、発達障害者支援センター
B1F	倉庫

こぼと棟 (4,354 m ²)	リハビリセンター棟 (3,891 m ²)
重症心身 障害児者病棟 (40人×3病棟)	院内学級等
	各種訓練室 訓練用プール
給食調理室、機械室等	